

「諏訪湖の案内人(仮称)養成講座」ワーキンググループについて

諏訪地域振興局企画振興課

1 概要等

諏訪湖創生ビジョンでは、県民や観光客が諏訪湖の水環境や歴史・文化を学ための仕組みづくりとして、「諏訪湖の案内人(仮称)」育成を掲げている。

そのため、諏訪湖環境研究センター(仮称)を拠点に「諏訪湖の案内人(仮称)養成講座」を開講することを目指し、令和3年度からカリキュラム、講師、テキスト等について検討してきた。

(4年度は新型コロナの拡大のため中断)

2 検討経過

諏訪湖環境研究センター(仮称)開設後、詳細を最終決定することとし、本WGでは、講座の基本的な考え方、カリキュラムや名称などの大まかな内容を検討

R3年度 3回WGを開催。案内人養成の基本的な考え方、名称(素案)、カリキュラム(素案)を議論

R5年度 2回WGを開催。名称案を絞りこみ、カリキュラムの具体的なテーマ、講座実施の方法を議論。その他、講座受講者の掘り起こしを目的にR6.2にイベントを開催(参加者40名)



3 検討結果等

(1) 諏訪湖の案内人(仮称)の基本的な考え方

①活動目的

住民、子ども、観光客等を主な対象とし、フィールド活動を通じて学びの場を提供することで、諏訪湖の水環境の価値と魅力を伝え、保全や活用に対する関心を高める

②想定する人材

- 1) 自然に関心が高く、その保全活動等に参加する人(リタイア層、現役世代、学生世代)
- 2) 観光ガイドや観光案内に関わる観光関係者(ガイド、観光案内所スタッフ等)

③名称

「諏訪湖の案内人」「諏訪湖ガイド」「諏訪湖マイスター」の3つを候補として選定

(2) 諏訪湖の案内人(仮称)養成カリキュラム等

①必要な知識

	内容	習得の方法
全メンバーに必要な知識	・ 諏訪湖の水環境(水質、生態系、治水・利水など)	「みんなの諏訪湖～諏訪湖読本～」を活用 ※最新情報は適宜アップデートしていく
個々のメンバーが深める知識	・ 諏訪地域の観光情報(産業、歴史、文化、自然) ・ おもてなし(接客スキル)	観光ガイドに類する知識・スキルであり、観光案内を実践している団体と連携して、知識・スキルの習得を図る

②カリキュラム案

- ・ 諏訪湖の水環境関係 (3日)
→ 水環境、治水(利水)、生態系、フィールドワークをテーマに12コマ程度
- ・ 観光・おもてなし関係 (1日)
→ 諏訪湖エリアまちなか観光案内人協議会との連携により、ガイド体験も含め3コマ程度

4 今後の予定

諏訪湖環境研究センター(仮称)開所後 R6年度内の講座開講に向け準備を進める。